

## 第16回中央委員会

### 2006年度に向けた政策実現に努力 政策制度要求と提言など決定

連合神奈川は7月15日、ワークピア横浜で、『第16回中央委員会』を開催。代議員87名(定数110)、役員40名、傍聴14名が参加し、2006年度に向けた政策制度要求と提言などが決定したほか、中間活動報告、会計報告などがされ、新しく事務局に榊見副事務局長(JAM神奈川)が加わることが決定した。委員会は石渡副事務局長の司会で幕を開け、沢館氏(基幹労連)を議長に進行した。冒頭、主催者を代表して演壇に立った白石会長は、「景気は回復基調にあると言われるが、デフレ経済の進行、グローバルな規模での競争の激化などで、企業は短期的視野に重きを置き、正社員採用の抑制、非典型労働者の増大など、雇用調整を進めている。また、給与所得控除の半減や定率減税全廃などが行われた場合、年収500万円の世帯では、年間34万円の増税になる。さらに、年金や医療について社会保障制度改革の道筋は明確になっていない」と問題点をあげ、解決のために政策・制度要求実現が重要であることを訴えた。続いて、中間活動報告、中間会計報告が提案され、それぞれ満場の拍手で承認。政策・制度要求と提言について提案、参加者の挙手で決定した。今委員会では欠員となっていた副事務局長に榊見康幸氏を選出。連合神奈川事務局を支えていくこととなった。

### 2005東京都議会議員選挙 ご支援ご協力ありがとうございました

東京都議会議員選挙は3日に投開票が行われ、民主党は前回当選数の22議席を大きく上回る35議席を獲得。大躍進を遂げました。連合神奈川組織内議員では12候補中9名が当選しました。皆様のご支援とご協力に感謝します。

### 2005勤労者植樹祭 下草刈り絶好の環境でみどりの大切さを体験学習

連合神奈川と県労福協は7月23日、2005勤労者植樹祭を開催。135名が参加し、植樹林の下草刈りを行った。津久井町長竹の植樹林は森林火災での焼失林に連合神奈川と県労福協がヒノキの苗2000本を植樹した場所。7年を経たヒノキは幹も周囲20cmほどに成長し、りっぱな森の様相となってきた。参加者らは本厚木駅に集合、バスで現地入り。セレモニーでは白石会長が「水と空気、環境を保全していくため、森林は大切」とあいさつ、環境保全運動の重要性を訴えた。森林公社インストラクターから下草刈りのレクチャーを受け、柔軟体操で身体をほぐしてから入山。天候は曇りで気温も上がらず、屋外での行動には絶好の気候となったが、熱中症やケガなどに、十分な注意が払われた。参加者らは「たいへんだけど、心地良いですね」と汗をぬぐいながら笑顔で作業を進めていた。下草刈りの後は場所を移し、バーベキューで昼食。産別、組織を超え、交流が行われた。

連合神奈川は社会的責任において個人情報保護につとめます写真、映像、音声などの削除・利用停止依頼については連合神奈川のホームページの「プライバシーポリシー」をご参照ください

### 2005トップセミナー 民主党の未来ビジョン「生活者守る」主眼に

連合神奈川は7月15日、中央委員会に続いて『2005トップセミナー』を開催。民主党北橋衆議院議員を講師に、「今後の政局と民主党がめざすもの」と題して講演を行った。北橋氏は「小泉内閣のパフォーマンス政治は終わりに近づいている」とし、郵政民営化について「靖国参拝など、自分のまいた種でアジアから嫌われ、BSE問題でアメリカからも良い印象がなくなった。郵政民営化は市場を外国との競争にさらすことになり、アメリカ金融界、ブッシュ政権への手みやげとしようとしている。事業が失敗したら、国民の税金で穴埋めすることにもなりかねない」と批判。「解散となれば自民党は分裂、野党となる可能性もあり(民営化に)反対派はそれを恐れている。解散ではなく、小泉辞任を求める」方向性もあると示唆。「靖国問題と郵政問題で戦後60年解散もあり得る。これはまさに八つ当たり解散といってもいい。民主党にとって、解散はチャンスだが、もつとちゃんとファイティングポーズをとって、闘う姿勢を明確にしておく必要がある」と語った。また、若者にフリーターやニートなどが増えていることに対し、「収入が安定していなければ、結婚して子供をつくることもできない。出生率低下につながっていく」定職に就かない原因を「社会的な“居場所”の無さが問題」とし、「永年働き、知識も経験も積んできた人たちが、定年を迎えた後どうするか、引きこもりになってしまう子どもたちも、学校や教室の中で“居場所”を見つけれずにいることが原因。これはすべての人が今、向かい合っている社会的な問題」だと訴えた。「道路公団の民営化も、国民にとって手応えのあるものは何もなかった。小泉首相は30兆円以上の借金はしないと公約していたが、今や100兆円を超えている。国家予算の10倍の借金を抱えた時、その国家の歩む道は3つ、①大インフレ、②戦争、③政権交代。小泉政権は未来にまったく責任を負っていない」「古今東西、為政者は行き詰ると国民の不満を外に向ける。歴史問題はこれから慎重に討議していかなければならない。小泉首相は歴史認識の問題で、韓国や中国から完全に信頼を失っている。6カ国協議でも拉致問題に関して、決して協力はしてくれないだろう。自分一人の行動のために、国益がグラついている」「民主党は単独で政権を取れる。大事なことは、(前回の東京都議会議員選挙で)今回のサラリーマン増税を厳しく追及することによって勝機をつかんだ。消費者、生活者、サラリーマンを大事にする、その生活を守るというのが、私たちの主眼であるということ。戦後60年、行き詰まっている、個人的には地域に主権を置き、教育でも地方分権が行われればいいと思う。解散は民主党にとって千載一遇(せんざいいちぐう)のチャンス。待たずして一気に行く。連合と民主党が団結していけば、必ず勝機がつかめる」と力強く語った。

きたはし けんじ 北橋 健治 衆議院福岡県9区 / 5期1953年03月19日生まれ 兵庫県西宮市出身【党役職】役員室長【国会の役職・所属委員会】国家基本政策委員会 / 理事 【学歴】東京大学 【職歴】民社党本部政策審議会スタッフ <http://www.kitahashi.net/>

### 青年委員会です 平和連合平和沖縄集會に参加 受けつがれ、語りつがれる

6月23日～25日の日程で、2005平和運動inオキナワが開催され、青年委員会から喜野和広さん、松尾昌治さんの両名が参加しました。

【平和の礎・平和記念資料館】 平和記念資料館などでは戦争の歴史や沖縄戦の惨劇を、写真や生存者の証言で学習した。本土を守る時間稼ぎをさせられ、民間人・軍人の死傷者が増えたこと、日本の間違った教育により自決せざる得ない人達がいたことなど非常に心が痛んだ。

喜野 和広(自動車総連)

【糸数アブチラガマ】「ガマ」と呼ばれる鍾乳洞は、戦時中、住民の避難所や野戦病院として使用された。日本軍撤退後、アブチラガマも野戦病院として使用され600名以上の負傷兵と避難民で埋め尽くされた。日本軍による集団自決の強制、外では米軍の攻撃と、内も外も凄惨な戦場となった。その死者は軍人よりも住民の方がはるかに多いと聞いた。この悲惨な出来事を風化させず、未来の子どもたちへ伝えていくことが、我々の使命であると感じた。

松尾 昌治(化学総連)

---

**今月の連合の日 世界平和求め運動を強化 すべての核兵器・核実験廃絶を!**

7月5日、桜木町駅頭で実施。構成組織や横浜地域連合から組合員が結集し、「すべての核兵器の廃絶」「つくろう世界平和」「北方四島の返還」などを訴えた。連合では6月から9月までを平和運動強化期間として、さまざまな活動を展開している。連合神奈川でも8月6日、横浜駅西口でピースリレートークなど平和を訴えるイベントを開催。7月30日から8月6日のゾーンで『ピースウィーク行動』を展開。県内各地域・地区連合の企画で平和を訴える宣伝行動を行う。

---

KANAGAWA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION (2)